

講義名	日本文化と社会【留学生科目】			授業形態	
担当教員	山崎 誠	開講期・曜日・時間	前期集中 日曜日 その他		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

**主題と概要**

「日本の伝統文化に触れ、理解を深める」ことを目的として、ワークショップとフィールドワークを通じて実際に文化体験を体験し、実体験を通して見聞を広める。具体的には、茶道、華道を自ら体験し、その文化の中に風々と感じている教えや考え方などから、日本人や日本文化の理解につなげる。

**到達目標**

1. ワークショップとフィールドワークを通じて日本の伝統文化を実際に体験し、理解する
2. 現代の生活と比較しながら伝統文化の中にある考え方を理解する
3. 事物の言葉「茶、華」や「一期一会」、「花びらひ」など、伝統的な文化に関することばを理解する
4. ルールを守りクラスメートと協力してワークショップやフィールドワークに取り組む

**提出課題**

必要に応じて授業内で通知する

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

授業中に質疑を行う  
質問等はメールなどで対応する

**評価の基準**

日本の文化をしっかりと体験できている  
日本の文化を理解しよう努力している  
日本のルールを守りクラスメートと協力している

**履修にあたっての注意・助言他**

日本の文化に触れ、ワークショップを楽しみながら学びましょう  
日本のルールに従って、フィールドワークなどを行い、他の人に迷惑にならないよう行動しましょう  
他のクラスメートを尊重して、助け合いながら学びましょう

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.なし。

その他

**授業計画**

1. 5月20日 いけばな体験または解説、箸のマナー等のワークショップ、フィールドワークの準備
2. 6月10日 フィールドワーク：表千家北山会館にて茶道具及び抹茶をいただく / 京都防災センターにて防災体験
3. 7月 8日 ワークショップ（折り紙等）、発表

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

授業内で課題が指示された場合は、必ず提出すること。  
疑問等がある場合は、メールなどで行う。  
事前に配布する資料を熟読し、課題や問題点をまとめたり、分からない言語や表現があれば調べておく  
... 2時間  
首回で配布した資料を熟読し、理解が不十分だった点を確認する  
... 2時間

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

留学生を対象とした科目群で、文化知識及び語学力を修得するとともに、仲間と協同して物事を成し遂げることができ、また、新しい視点と豊かな発想によって、新しい価値を生み出すことができる人材を育成する科目である。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**